

SDGs をテーマとした国際会議の開催状況 【調査回答】

○ 米国内で開催予定の会議一覧(開催日程順)

①会議名称	High-Level Political Forum 2023
②主催者	国際連合(後援:国際連合経済社会理事会)
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2023年7月10日～19日 @米国・ニューヨーク
④テーマ	COVID-19 からの回復の加速及びあらゆるレベルの持続可能な開発のための2030 アジェンダの完全な履行
⑤主な参加者・ スピーカー(特に 国連関係者、自治 体関係者)	以下の41か国・機関の発表者が、2030アジェンダの実施に関する自主的な国家レビュー(VNR)を行う。 バーレーン、バルバドス、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルネイ、ブルキナファソ、カンボジア、カナダ、中央アフリカ共和国、コモロ、チリ、クロアチア、コンゴ民主共和国、欧州連合、フィジー、フランス、ガイアナ、アイスランド、アイルランド、クウェート、リヒテンシュタイン、リトアニア、モルディブ、モンゴル、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ルワンダ、サウジアラビア、シンガポール、スロバキア、セントクリストファー・ネイビス、シリア・アラブ共和国、タジキスタン、東ティモール、トルクメニスタン、タンザニア連合共和国、ウズベキスタン、ベネズエラ、ベトナム、ザンビア
⑥会議HPのURL	https://hlpf.un.org/2023
⑦会議実績(開催回数・参加者数等の開催規模)	毎年、経済社会理事会の後援の下、3日間の閣僚会議を含む8日間開催される(前回:2022年7月5日～12日) https://hlpf.un.org/2022 以下の44か国の発表者が、2030アジェンダの実施に関する自主的な国家レビュー(VNR)を実施した。 アンドラ、アルゼンチン、ベラルーシ、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、ジブチ、ドミニカ、エルサルバドル、赤道ギニア、エリトリア、エスワティニ、エチオピア、ガボン、ガンビア、ガーナ、ギリシャ、グレナダ、ギニアビサウ、イタリア、ジャマイカ、ヨルダン、カザフスタン、ラトビア、レソト、リベリア、ルクセンブルグ、マラウイ、マリ、モンテネグロ、オランダ、パキスタン、フィリピン

	ン、サントメ・プリンシペ、セネガル、ソマリア、スリランカ、スーダン、スリナム、スイス、トーゴ、ツバル、アラブ首長国連邦、ウルグアイ
⑧会議の報告書 や成果物	2022 年閣僚宣言 https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N22/455/26/PDF/N2245526.pdf?OpenElement
その他	1993 年以降毎年開催されていた持続可能な開発委員会に取って代わり、2013 年以降毎年開催されている。 会合の成果として閣僚宣言が採択される。 ※2019 年までの実施例によると、①メインの会議、②サイドイベント、③スペシャルの参加形態あり。 ・サイドイベントは国ごとに 1、2 枠といった割当あり。枠を持っている他国や機関とコネクションがあれば組んで出ることも可能。 ・スペシャルは国連内又は近辺で実施する自主企画。

①会議名称	The 2023 SDG Summit - the High-level Political Forum on Sustainable Development under the auspices of the General Assembly
②主催者	国際連合
③開催日程、場所 (対面又はオンライン)	2023年9月19日、20日 @米国・ニューヨーク
④テーマ	持続可能な開発のための2030アジェンダと17の持続可能な開発目標(SDGs)の実施のフォローアップ及びレビュー
⑤主な参加者・ スピーカー(特に 国連関係者、自治 体関係者)	【参加対象】各国政府、国際機関、民間組織、市民社会、女性、若者、その他関係者
⑥会議HPの URL	https://www.un.org/en/conferences/SDGSummit2023
⑦会議実績(開催 回数・参加者数等 の開催規模)	開催回数:過去1回(前回は2019年9月24日、25日) https://sustainabledevelopment.un.org/sdgsummit#home 2015年に2030アジェンダ採択後、4年に1度開催されている。
⑧会議の報告書 や成果物	2019年政治宣言 https://documents-dds-ny.un.org/doc/UNDOC/GEN/N19/318/21/PDF/N1931821.pdf?OpenElement
その他	国連総会議長が議長を務める。 サミットの成果は、交渉による政治宣言となる。

※ 国連代表部に確認したところ、いずれも2023年の詳細は決まっておらず、実際に参加を検討する際には改めて確認いただく必要あり。